

PIF Program 2021-2025 を発表

Vision 2030 の推進において、Public Investment Fund(PIF)の存在感が高まっている。1月24日、ムハンマド・ビン・サルマン(MBS)皇太子により2021年からの5ヵ年計画となるPIF Program 2021-2025が発表された。2025年までの目標として、PIF資産残高：1.07兆ドル(≒4兆リヤル)、サウジ国内への投資：年400億ドル、雇用創出：180万人等が掲げられている。油価低迷等により財政状況が厳しさを増す中、PIFは単なるSWFの域を超え、機動的に国家開発プロジェクトをファイナンスする第2の予算的色彩がより強まってきている。

Public Investment Fund (PIF)

サウジアラビアのSWF。設立は1971年と50年近い歴史を持つ。2015年に監督が財務省から、ムハンマド・ビン・サルマン皇太子が議長を務める経済開発評議会(CEDA)に移されたこともあり、Vision2030の改革の柱として注目を集める。幅広い分野での子会社の設立や、ギガプロジェクトの推進を担う。

堅調な進捗、子会社設立によるプロジェクト推進

2020年の目標・実績を比較すると、資産残高、株主収益率、雇用創出の目標を達成している。また、2020年までに、30社以上の子会社を設立しており、2021年1月28日には、クルーズ客船の分野を推進する子会社Cruise Saudiの新設が発表された。

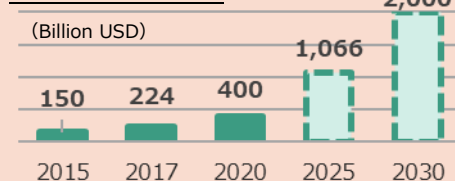
今度の戦略分野として、次の13分野を挙げている。

- ①ヘルスケア、②ユーティリティ&再エネ、③テレコム、メディア、テクノロジー、④食糧と農業、⑤自動車、⑥輸送・ロジ、⑦不動産、⑧航空宇宙・防衛、⑨建設・建築サービス、⑩エンタメ・レジャー・スポーツ、⑪金融、⑫鉱業、⑬消費財・小売。

PIFの2020年実績

項目	2020年目標	2020年実績
資産残高	4,000億ドル	4,000億ドル
株主収益率	4-5%	8%
雇用創出	28.5万人	33.1万人

PIF 資産残高推移



(PIFの公表資料より日サビジョンオフィス作成)

進捗するギガプロジェクト

NEOMやQiddiya等のギガプロジェクトの推進もPIFの大きな役割の1つに挙げられる。発表当時は、リアリティを感じにくかったものの、関連ニュースを目にする機会が増えており、確実に進捗している様子が伺える。また、1月11日には、MBS皇太子より、NEOM内部にエコシティ“THE LINE”を建設することが発表された。THE LINEは、自動車も道路もない全く新しいコンセプトのゼロカーボンシティであり、新たなプロジェクトとして期待がかかる。

今度の新規プロジェクト・新設子会社の発表に加え、2023年からオープンを予定する、QiddiyaやRed Sea Project等の進捗にも注目が集まる。(2021年1月)

お問合せ先

日・サウジ・ビジョンオフィス・リヤド

Address: 5th Floor, Council of Saudi Chamber Building, Riyadh 11614

Tel: +966-11-219-9155 E-mail: infovo@sj-visionoffice.jetro.go.jp

Website: <https://www.jetro.go.jp/sj-visionoffice/>